



防災のページ

問い合わせ 総務課 防災グループ ☎27-2481

令和5年度厚真町防災図上訓練
実施成果について

町は、令和5年7月30日(日)に北海道の訓練統裁支援により、令和5年度厚真町防災図上訓練を行いました。

この訓練は、日本海溝・千島海溝型の巨大地震による地震と大津波が発生した場合を想定したもので、厚真町でマグニチュード8.8(震度6強)の地震と大津波が発生した場合の役場の対応と防災関係機関との連携による災害対策活動要領等について訓練を行いました。

コントローラー(統裁部)である北海道による状況付与は、オールブラインド(対応・実施する側は何が付与されるかわからない状況付与の方式)で、図上訓練だけでなく、一部を実動訓練として行いました。緊迫感や緊張感がある災害対応活動に関して、関係機関である陸上自

衛隊第7特科連隊第1特科大隊、苫小牧警察署、苫小牧海上保安署および胆振東部消防組合消防署厚真支署を含む役場職員全員が真剣に訓練に取り組みました。

訓練は、日曜日の自宅で地震・大津波が発生したと想定。職員は、シェイクアウト訓練後に緊急登庁し、早期の災害対策本部設置、自衛隊への災害派遣要請、地区連絡班要員の派遣、避難所の開設、住民の安否確認、要配慮者の避難支援など対応。備蓄品の搬出・輸送やインフラ・ライフライン被害への対処、関係機関との連携について手順を確認しました。また、連絡調整・指示統制、情報の収集と処理、伝達および災害対策本部会議を開いて演練しました。



緊急登庁する職員



オペレーションルームの設置



情報の収集・整理



災害対策本部会議の準備



避難所の内部配置などを検討



災害対策本部会議



活動状況などを報告する警察と自衛隊



定池准教授による訓練講評